

心豊かな世代が育つ

童話の里づくり

450

ーシリーズー あなたの人權・わたしの人權

『私とあなたの心を守る方法』

玖珠美山高校

N・H

心って、何だろう？

心の強さって、どうやって身に付けるんだろう？

幼いころからの疑問。これはきつ

と、私の一生のテーマです。

他の人に優しくあろうと、慎重に言葉を選び生きていました。一方で、心の優しさで自己犠牲の区別がつけられませんでした。

そんな私の生き方がある友だちの人生を狂わせてしまったかもしれない。

はじめは、ちょっとした意地悪をされていただけであつたのが、時と共にエスカレートし、遂には手が出るようになりました。

何をされても嫌だと表現できない私の性格が、彼女をそうさせてしまったのでしょうか？

結局、それは「いじめ」となり、

学校の介入によって解決に至りましたが、お互いの心に深い傷を残す結果となりました。

あの日、あの時、私が抵抗していれば、ここまで大きな問題にはならなかったかもしれません。

我慢しすぎることは、相手のためにも自分のためにもならないことを知りました。

そんな時、私に転機が訪れました。中学2年生の夏、アメリカでの1か月のホームステイです。

ホストマザーと2人のシスターとの生活が始まり、最も感銘を受けたのは、アメリカの人々の意思表示の強さです。

ホストシスターたちに

「お菓子食べる？」

と聞くと、はつきりと、

「No thank you」

と言われます。

日本では考えられない明確な意思表示に、初めは衝撃を受けましたが、一緒に生活するうちに、それが彼女たちの日常で、人を傷つけようという気持ちは全くないことに気がきました。

そして、その嘘のない言動こそが私が求めていた『心の強さ』なのではないかと考えるようになりました。

この二つの出来事を通して、私が学んだこと。

それは、心が優しいということは決して悪いことではない。でも、同時に「強さを持つ」ことも大切だということ。

今、私の優しいところが好きだと言ってくれる人たちがいます。

そんな人たちを私自身の曖昧な優しさで傷つけることのないように、意思表示を繰り返しながら、自分の心も相手の心も守れる『心の強さ』を身に付けたいと思います。



この人權作文について、意見や感想、激励など、お寄せください。また、みなさんの投稿もお待ちしています。

わたしたちをとりまく様々な不合理や差別性について気づいたことや感じたことを、二〇〇字程度にまとめて、住所、氏名、連絡先電話番号を記入して(匿名可)、玖珠町教育委員会社会教育課「あなたの人権・わたしの人権」までお届けください。

